



# 平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年1月30日

上場取引所 東 名

上場会社名 パナソニック デバイスSUNX株式会社  
コード番号 6860 URL <http://panasonic.net/id/pidsx/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 富永 俊秀

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経営管理担当 (氏名) 宮下 英二

TEL 0568-33-7211

四半期報告書提出予定日 平成29年2月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有 当社ホームページに掲載

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	34,122	3.4	2,753	△10.4	2,803	△12.2	1,869	△13.0
28年3月期第3四半期	33,012	3.6	3,071	△13.0	3,192	△17.3	2,148	△18.4

(注)包括利益 29年3月期第3四半期 2,039百万円 (15.3%) 28年3月期第3四半期 1,769百万円 (△48.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	33.22	—
28年3月期第3四半期	38.17	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第3四半期	44,335	35,408	79.3	624.96
28年3月期	43,186	34,395	79.1	607.10

(参考)自己資本 29年3月期第3四半期 35,168百万円 28年3月期 34,163百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	9.00	—	9.00	18.00
29年3月期	—	9.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	0.00	9.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

## 3. 平成29年 3月期の連結業績予想(平成28年 4月 1日～平成29年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	44,000	0.1	3,800	△8.2	3,900	△7.2	2,700	△14.3	47.98

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期3Q	56,457,898 株	28年3月期	56,457,898 株
29年3月期3Q	184,336 株	28年3月期	184,216 株
29年3月期3Q	56,273,628 株	28年3月期3Q	56,273,718 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続きが実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 .....	5
第 3 四半期連結累計期間 .....	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済においては、米国は雇用情勢が改善し、個人消費が底堅く、景気は回復傾向にありました。一方、中国経済の鈍化や英国のEU離脱問題の発生、米国の新政権による政策の不確実性など、下振れリスクを含んだまま推移いたしました。

わが国経済においては、企業収益は緩やかな回復基調で推移し、雇用・所得環境は改善が続き、消費者マインドには持ち直しの動きが見られました。

このような状況下、当社グループは、国内においては、半導体関連向けが好調に推移したことにより、国内売上高は19,348百万円（前年同期比1.8%増）となりました。また、海外においては、為替影響を受けたものの、中国での自動化需要の高まりに対応したこと及びスマートフォン製造設備関連向けの売上高が伸長したことにより、海外売上高は14,773百万円（同5.4%増）となりました。以上の結果、売上高は34,122百万円（同3.4%増）と第3四半期連結累計期間で過去最高となりました。

利益面につきましては、為替影響や退職給付債務の影響により、営業利益は2,753百万円（同10.4%減）、経常利益は2,803百万円（同12.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,869百万円（同13.0%減）となりました。

### セグメント別の状況

#### ・センシングコントロール事業（FA用センサ、PLC、プログラマブル表示器等）

国内においては、半導体関連向けに売上高が増加いたしました。また、海外においては、為替影響を受けたものの、中国での自動化需要の高まりに対応したこと及びスマートフォン製造設備関連向けの売上高が伸長したことにより、当事業の売上高は21,620百万円（同6.8%増）となりました。なお、為替影響や退職給付債務の影響を受けたものの売上高が増加したことにより、セグメント利益は4,209百万円（同6.2%増）となりました。

#### ・プロセッシング機器事業（レーザマーカ、画像処理機、紫外線硬化装置等）

国内においては、主要顧客先である自動車関連向けの売上高が減少いたしました。一方、海外においては、電子部品関連向けに売上高が増加いたしましたが、当事業の売上高は6,960百万円（同5.4%減）となりました。なお、新商品開発の加速に伴う費用の増加や退職給付債務の影響などにより、セグメント損失は167百万円（前年同期はセグメント利益506百万円）となりました。

#### ・E c o・カスタム事業（エコ関連商品、カスタム部品、カスタム商品等）

国内売上高が堅調に推移し、当事業の売上高は5,541百万円（同2.4%増）、セグメント利益は150百万円（前年同期はセグメント損失4百万円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産の残高は前連結会計年度末に比べ1,149百万円増加し、44,335百万円となりました。この主な要因は下記のとおりであります。

#### (流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は前連結会計年度末に比べ1,532百万円増加し、32,871百万円となりました。主な内容は棚卸資産が1,173百万円増加したことによるものです。

#### (固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は前連結会計年度末に比べ383百万円減少し、11,464百万円となりました。主な内容は有形固定資産が339百万円減少したことによるものです。

#### (流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は前連結会計年度末に比べ417百万円増加し、7,239百万円となりました。主な内容は仕入債務が952百万円増加したことによるものです。

#### (固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は前連結会計年度末に比べ282百万円減少し、1,686百万円となりました。退職給付に係る負債が282百万円減少したことによるものです。

#### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は前連結会計年度末に比べ1,013百万円増加し、35,408百万円となりました。主な内容は親会社株主に帰属する四半期純利益1,869百万円による増加と、配当金の支払1,012百万円の減少等によります。

当第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、以下に記載のキャッシュ・フローにより13,494百万円となり、前連結会計年度末に比べ158百万円増加いたしました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益2,719百万円、仕入債務の増加による資金の増加961百万円を計上する一方、たな卸資産の増加による資金の減少1,210百万円等がありました。この結果、営業活動によるキャッシュ・フローは2,412百万円となり前年同四半期に比べ691百万円収入が減少いたしました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出841百万円等により1,119百万円の支出となり前年同四半期に比べ965百万円支出が減少いたしました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額1,025百万円等により1,025百万円の支出となり、前年同四半期に比べ57百万円支出が減少いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年4月27日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

(4) 追加情報

当社は、平成28年12月20日開催の取締役会において、パナソニック株式会社を株式交換完全親会社とし、当社を株式交換完全子会社とする株式交換を行うことを決議し、同日、両者間で株式交換契約を締結いたしました。本株式交換の実施は、平成29年2月28日に開催予定の当社臨時株主総会の決議による承認を受けた上で、平成29年3月27日を本株式交換の効力発生日として行う予定です。本株式交換効力発生日に先立ち、当社の株式は平成29年3月22日に上場廃止となる予定です。

なお、詳細は平成28年12月20日公表の「パナソニック株式会社によるパナソニック デバイス S U N X 株式会社の株式交換による完全子会社化に関する株式交換契約締結のお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,923	5,664
受取手形及び売掛金	4,612	4,451
商品及び製品	2,498	2,746
仕掛品	591	685
原材料及び貯蔵品	2,607	3,438
預け金	12,412	13,830
その他	1,694	2,055
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	31,339	32,871
固定資産		
有形固定資産		
土地	2,641	2,539
その他(純額)	7,378	7,142
有形固定資産合計	10,020	9,681
無形固定資産	939	982
投資その他の資産	887	799
固定資産合計	11,847	11,464
資産合計	43,186	44,335
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	3,088	3,851
電子記録債務	538	727
未払金	905	930
未払費用	621	661
未払法人税等	721	352
賞与引当金	872	522
その他	73	193
流動負債合計	6,822	7,239
固定負債		
退職給付に係る負債	1,968	1,686
固定負債合計	1,968	1,686
負債合計	8,791	8,926
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,155	3,155
資本剰余金	10,534	10,534
利益剰余金	20,452	21,308
自己株式	△64	△64
株主資本合計	34,077	34,933
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	32	36
繰延ヘッジ損益	△0	7
為替換算調整勘定	783	625
退職給付に係る調整累計額	△728	△434
その他の包括利益累計額合計	86	234
非支配株主持分	232	240
純資産合計	34,395	35,408
負債純資産合計	43,186	44,335

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
売上高	33,012	34,122
売上原価	23,489	24,924
売上総利益	9,523	9,197
販売費及び一般管理費	6,451	6,444
営業利益	3,071	2,753
営業外収益		
受取利息	78	62
受取配当金	2	2
受取地代家賃	26	2
為替差益	12	-
その他	5	3
営業外収益合計	125	70
営業外費用		
不動産賃貸費用	3	-
為替差損	-	16
その他	1	2
営業外費用合計	4	19
経常利益	3,192	2,803
特別利益		
投資有価証券売却益	64	-
固定資産売却益	0	8
特別利益合計	64	8
特別損失		
固定資産売却損	-	68
固定資産除却損	61	24
特別損失合計	61	92
税金等調整前四半期純利益	3,194	2,719
法人税、住民税及び事業税	774	730
法人税等調整額	247	92
法人税等合計	1,022	822
四半期純利益	2,172	1,897
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,148	1,869
非支配株主に帰属する四半期純利益	24	27
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△31	4
繰延ヘッジ損益	0	8
為替換算調整勘定	△319	△164
退職給付に係る調整額	△51	294
その他の包括利益合計	△403	142
四半期包括利益	1,769	2,039
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,755	2,018
非支配株主に係る四半期包括利益	14	21

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	3,194	2,719
減価償却費	1,157	1,250
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△341	143
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△334	△351
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2	-
受取利息及び受取配当金	△81	△64
為替差損益 (△は益)	△51	39
投資有価証券売却損益 (△は益)	△64	-
有形固定資産除売却損益 (△は益)	61	84
売上債権の増減額 (△は増加)	641	138
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△522	△1,210
仕入債務の増減額 (△は減少)	897	961
未払金の増減額 (△は減少)	△200	52
その他	△119	△291
小計	4,235	3,471
利息及び配当金の受取額	81	64
法人税等の支払額	△1,212	△1,122
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,103	2,412
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
預け金の預入による支出	△6,000	△6,000
預け金の払戻による収入	6,000	6,000
有形固定資産の取得による支出	△2,128	△841
有形固定資産の売却による収入	202	48
無形固定資産の取得による支出	△237	△326
投資有価証券の売却による収入	79	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,084	△1,119
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△1,065	△1,011
非支配株主への配当金の支払額	△17	△13
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,082	△1,025
現金及び現金同等物に係る換算差額	△133	△109
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△197	158
現金及び現金同等物の期首残高	11,474	13,336
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,276	13,494



(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	センシング コントロール	プロセッシング 機器	E c o ・ カスタム	合計
売上高				
外部顧客への売上高	20,239	7,361	5,412	33,012
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	20,239	7,361	5,412	33,012
セグメント利益又は損失 (△)	3,963	506	△4	4,465

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,465
全社費用(注1)	△1,443
調整額(注2)	50
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	3,071

(注1) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注2) 調整額は、主に報告セグメントが負担する一般管理費の配賦差異であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間（自平成28年4月1日 至平成28年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	センシング コントロール	プロセッシング 機器	E c o・ カスタム	合計
売上高				
外部顧客への売上高	21,620	6,960	5,541	34,122
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	21,620	6,960	5,541	34,122
セグメント利益又は損失 (△)	4,209	△167	150	4,192

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,192
全社費用（注1）	△1,496
調整額（注2）	57
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	2,753

（注1）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

（注2）調整額は、主に報告セグメントが負担する一般管理費の配賦差異であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。